

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
5	1	1	勤労者会館運営費	136万8	96万6	228~231

【産業政策課】

○勤労者会館運営 96万6千円

勤労者の文化の向上と福利厚生を図るため、勤労者会館を運営し、有効活用を図った。

平成31年度 (令和元年度) 利用状況	利用回数 (回)	利用人数 (人)
大ホール	3	120
中ホール	26	734
小ホール	41	914
会議室A	45	542
会議室B	16	149
合計	131	2,459

(参考) 平成30年度 149回 2,705人

平成29年度 183回 3,707人

【使用料収入】 平成31年度 111万4,648円
(令和元年度)

平成30年度 125万2,553円

平成29年度 124万5,980円

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
5	1	2	労働諸費	1,443万0	1,443万0	230~231

【産業政策課】

○シルバー人材センター運営費補助金 1,443万円

高齢者の就業その他多様な社会参加活動を援助し、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進及び活力ある地域社会づくりに寄与しているシルバー人材センターの運営費の一部を補助した。

《事業実績》

年度	受注件数	就業延人員	受注契約額	会員数
H31(R1)	2,073件	8,011人	156,926千円	318人
H30	2,012件	7,579人	139,150千円	293人
H29	1,997件	7,525人	138,973千円	293人

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	1	1	農業委員会費	4,049万5	3,879万9	230~235

【農業委員会】

○農業委員会の体制

農業委員 定数19人 実数18人
任期 平成29年7月20日～令和2年7月19日
農地利用最適化推進委員 定数19人 実数19人
任期 平成29年7月28日～令和2年7月19日

○3か年の申請許可状況

◇農地法に基づき受理及び審議承認した農地転用等許可状況

(面積：㎡)

種別	H29年度		H30年度		H31(R1)年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
3条(農地として活用…所有権移転、耕作権の設定)	50	100,156	36	44,059	42	94,335
4条(農地の転用…自分名義)	2	2,427	7	3,076	8	4,801
5条(農地の転用…他人名義の農地を売買又は貸借して)	60	38,249	59	35,428	56	39,657

◇農業経営基盤強化促進法による申請件数

(面積：㎡)

種別	H29年度		H30年度		H31(R1)年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借(新規)	74	194,769	60	170,056	31	97,278
貸借(更新)	148	295,188	156	299,876	138	264,113
所有権移転(売買等)	52	80,436	41	61,364	29	50,220

※農業経営基盤強化促進法…農業経営の規模拡大や合理化を進めていく意欲のある農業経営者(認定農業者等)支援のための法律で、農地法の許可を受けずに農地の貸し借り等ができる制度

○農地利用最適化交付金事業 8万7千円

農地等の利用の最適化(担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等)の推進に係る活動の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員へ報酬を支給した。 活動実績に応じた交付金 8万7千円

○広報誌「農委のうごき」発行 12万1千円

農業委員会の活動及び農地の売買等申請の流れ、農地の無断転用の禁止等農地に関する情報について、農家等に情報を提供するため発行した。(年1回発行 部数2,200部)

○農業者年金業務事業 20万7千円

農業者年金は、農業者年金基金法に基づく農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした年金制度であり、農業者年金基金から委託を受け事務を行っている。

新規加入者申込届や裁定請求書、現況届などの届出書の受付、農業委員・農地利用最適化推進委員による加入対象者への周知及び加入推進活動を行った。

区 分 \ 年 度		H29年度	H30年度	H31(R1)年度
年金受給者 (人)		493	477	463
被保険者 (人)		200	205	189
届出受付件数 (件)	新規加入者申込	10	15	6
	死亡・脱届受付	52	40	31
	経営移譲年金請求(旧制度)	3	3	1
	老齢年金請求(旧制度)	1	2	7
	特例付加年金請求(新制度)	0	1	0
	老齢年金請求(新制度)	18	17	19

○機構集積支援事業 71万7千円

農地中間管理機構が担い手への農地の集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が関連する事業を実施した。

- ・農地利用状況調査……市内全域の農地を、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局・農林水産課と共にパトロールを実施し、遊休農地の把握を行った。
- ・農地利用意向調査……遊休農地所有者に対して意向調査を行い貸借等の斡旋や、遊休農地の解消に努めた。
- ・遊休農地面積……………19.4ha(前年20.0ha)

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
6	1	3	農業振興費	2億4,036万8	2億835万2	236～243

【農林水産課】

○雇用労力支援システム事業 626万5千円

担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保するためには労力支援システムの構築が必要であることから、農援隊を組織する農協に対し補助を行った。

事業の成果としては、農作業労力支援システムの活用により労力不足を解消し農業経営の安定に繋がった。

受益戸数	229 戸
利用日数	4,328 日
事業費	4,930万4千円（うち補助対象：1,253万1千円）
負担割合	市：1/2 農協：1/2

○チャレンジ園芸1000億円推進事業 774万7千円

園芸経営においては、担い手減少・高齢化など構造的な課題に加え、生産コストの高騰など情勢の著しい変化があることから、園芸経営体の強化に係る設備導入や園芸施設の長寿命化に対し補助を行った。

事業の成果としては、農作業の効率化や省力化、経営コストの削減に繋がった。

受益戸数	1部会(87戸)、3組合(11戸)	
事業量	大根出荷用コンテナ	受益面積 150.23 ha
	炭酸ガス発生装置	受益面積 1.26 ha
	白菜ハウスリノベーション	受益面積 1.08 ha
	いちご施設リノベーション	受益面積 0.31 ha
事業費	1,839万1千円（うち補助対象事業費：1,819万円）	
補助率	県：1/3、市：1/10	



〔炭酸ガス発生装置〕



〔大根出荷用コンテナ〕

○新構造改善加速化支援事業 6,248万5千円

新規就農者の育成確保や安定した経営体の育成が必要であり、経営改善による規模拡大や省力化・効率化等を図ることが課題となっていることから、生産管理施設（園芸用ハウス）の導入に対し補助を行った。

事業の成果としては、農産物の生産増加や経営規模の拡大など経営の改善に繋がった。

受益戸数	11戸
事業量	ハウス 17棟 17,584.4㎡
事業費	1億3,485万4千円（うち補助対象：1億2,694万2千円）
補助率	県：2/5、市：1/10



〔ハウス〕

○強い農業・担い手づくり総合支援交付金 3,285万4千円

生産性の高い施設園芸を中心とした複合経営の経営改善を図ることで、規模拡大や省力化、効率化を進め、地域農業の発展と活性化及び安定した農業経営体の育成を図った。

低コスト耐候性ハウスを整備し、併せて収量増加、品質向上に資する付帯設備整備を行った。

受益戸数	花き農家5戸
事業量	低コスト耐候性ハウス 1棟 1,083.0㎡
事業費	4,826万2千円（うち補助対象事業費 4,400万円）
補助率	国：50% 県：10%以内 市：10%以内



〔低コスト耐候性ハウス〕

令和元年9月22日の台風17号被害により、ハウス、パイプライン、鶏舎等が被害を受け、今後も営農を継続するため、施設の復旧を図った。

受益戸数	1法人、3農家
事業量	(再建・撤去) ハウス1棟 1,035㎡ (修繕) 給餌機パイプラインの変形2機 (再建) ハウス1棟 600㎡ (修繕) 鶏舎4棟 屋根、外壁、窓ガラス、カーテン修繕
事業費	1,748万8千円 (うち補助対象事業費 1,748万8千円)
補助率	国：30%以内 県：5%以内 市：5%以内



[ハウス再建]

○産地パワーアップ事業 5,222万9千円

水田・畑作・野菜・果樹・花き等の産地が創意工夫を活かし、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づいて実施する競争力の強化や産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援した。

受益戸数	大根農家 10戸
事業量	連棟ハウス (大型ハウス) 1.1ha トンネル資材 0.3ha ベタガケ資材 0.2ha 省力機械のリース 8台
事業費	1億457万2千円 (うち補助対象事業費 1億457万2千円)
補助率	国：50%



〔マルチャー〕



〔大根収穫機〕



〔連棟ハウス〕

○有害鳥獣対策事業 1,454万3千円

農業収益の低下を招く有害鳥獣の被害を防止するため、駆除対策として猟友会へ駆除を委託した。また、鳥獣被害対策として、侵入防止柵の整備や電気止め刺し器等の導入に対し補助を行った。

事業の成果としては、有害鳥獣であるイノシシ等による農作物被害の軽減に繋がった。

・有害鳥獣捕獲実績

イノシシ	イノシシ以外の獣	カラス
680 頭	46 頭	299 羽

・鳥獣被害対策

受益面積	8.2ha		
事業量	侵入防止柵	ワイヤーメッシュ柵	L=2,330m
		電気柵	L=2,670m
補助率	イノシシ捕獲用箱わな 30基		
	侵入防止柵：国 100%		
	イノシシ捕獲用箱わな：国 50%、市 50%		



〔侵入防止柵〕

○農地中間管理機構事業 412万2千円

農地中間管理事業の業務を効果的に進めるため、農地集積専門員の設置を行った。

事業の成果としては、事業の円滑な推進が可能となり、担い手への農地集積・集約化の加速化に繋がった。

事業内容	農地集積専門員設置 1人 等
集積面積	農地中間管理機構による新たな集積面積 5.8ha
補助率	国：100%

○農林水産業雇用促進事業 77万4千円

農業での労働力不足を解消するとともに移住を促進するため、市外からの移住者を認定農業者が新規雇用した際の給与に対し補助を行った。

事業成果としては、認定農業者における労働力の確保と移住促進により、農業経営の安定と人口の増加に繋がった。

受益件数	2経営体
事業量	移住者の新規雇用：2人
補助率等	市：100% ・1人での移住：1人当たり給与の15%以内（上限：36万円） ・2人以上で移住：1人当たり給与の20%以内（上限：48万円）

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
6	1	4	畜産業費	4億1,186万6	3億7,825万3	242～247

【農林水産課】

○畜産クラスター構築事業 3億4,701万7千円

畜産の経営基盤強化を図るため、肉用牛・鶏の飼養羽数の増加による収益性の向上や省力化に取り組む施設整備に対し補助を行った。

事業の成果としては、畜舎等の整備により規模拡大等が図られ、経営の安定・向上に繋がった。

受益戸数	2戸
事業量	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県南地域畜産クラスター協議会（肉用牛） 肥育牛舎（鉄骨造）816 m²、堆肥舎（鉄骨造）504.6 m² ■ 島原キンケイ協議会（鶏） ウインドレス鶏舎（鉄骨造）1211.24 m² 堆肥舎（鉄骨造）1850.15 m²
事業費	7億1,185万円（うち補助対象 6億4,995万4千円）
補助率	国：補助率 1/2 以内、県：13.5%以内（肉用牛施設のみ） 市：5%以内（上限：500万円）



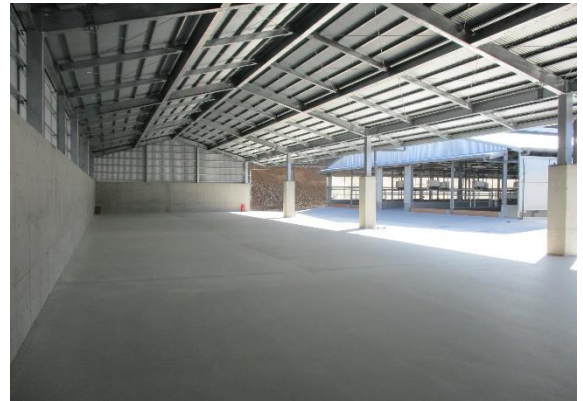
【肥育牛舎外観】



【肥育牛舎内部】



【肥育牛舎内部】



【堆肥舎内部】



【ウインドレス鶏舎内部】



【ウインドレス鶏舎内部】



【堆肥舎外観】



【堆肥舎内部】

○畜産環境衛生保全事業 673万6千円

畜舎周辺の宅地化が進んでおり家畜の飼育に起因した悪臭・衛生害虫の発生は、畜産経営の維持継続に影響をきたすことから、畜舎の環境保全を図る薬剤の購入に対し補助を行った。

事業の成果としては、衛生害虫及び悪臭発生防止等が図られ、畜産経営の維持継続と畜産環境の保全に寄与した。

受益戸数	58戸
事業費	2,020万7千円
補助率	市：1/3以内

○長崎県家畜導入事業 275万6千円

長崎和牛の生産振興対策として、肉用牛の生産頭数を増加させるため、優良な繁殖雌牛の導入に対し補助を行った。

事業の成果としては、優良な肉用牛の計画的な導入により、規模拡大や長崎和牛の品質の向上等が図られ、畜産経営の安定に繋がった。

受益戸数	3戸
事業量	繁殖雌牛：20頭（増頭タイプ）
補助単価	県：補助率 1/3以内（上限額：増頭タイプ10万円/頭、維持タイプ：5万円/頭） 市：3万7,800円/頭

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	1	5	農地費	1億6,281万1	1億3,764万0	246~249

【農林水産課】

○需用費（修繕料） 1,240万9千円

農業用の道路や河川等の施設において、破損箇所の補修や改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めた。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
農道修繕	24 件	6,249
用排水路修繕	19 件	6,160
計	43 件	12,409

○工事請負費 705万1千円

農業用施設である農道や河川等の用排水路の改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めた。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
農道・水路改修工事 (北部広域農道他1線区画線設置工事、広域農道法面改修工事、川内ため池取水施設改修工事)	3 件	7,051
計	3 件	7,051

北部広域農道他1線区画線設置工事



着工前



竣 工

広域農道法面改修工事



着工前



竣工

川内ため池取水施設改修工事



着工前



竣工

○原材料費 224万5千円

公団上にある農道の舗装や用排水路の漏水対策で自然排水路の改良などの必要性が高く、受益者が自ら施工できるものに対し、生コンなどの資材を支給し、営農の効率化や農業経営の安定を図った。

工種名	件数	支出額(千円)
生コンクリート	6件	2,245
計	6件	2,245

○**県営事業費負担金 5,467万2千円**

県営の畑地帯総合整備事業（三会原第3地区）他6件に対し、負担金を支出した。

(千円)

番号	事業名	箇所名	事業内容	事業費	負担金
1	県営グリーンロード橋耐震対策事業	雲仙グリーンロード2期地区	耐震補強	7,996	28
2	県営グリーンロード橋耐震対策事業 (H30年度繰越)	雲仙グリーンロード2期地区	耐震補強	140,000	499
3	県営畑地帯総合整備事業	三会原第3地区	区画整理用排水施設	132,913	15,955
4	県営畑地帯総合整備事業(H30年度繰越)	三会原第3地区	区画整理用排水施設	130,086	15,869
5	県営畑地帯総合整備事業	三会原第4地区	測量設計換地	66,000	7,153
6	県営畑地帯総合整備事業(H30年度繰越)	三会原第4地区	測量設計換地	120,000	14,510
7	土地改良調査費	中原・寺中地区	土壌調査現況調査	2,192	658
	計			599,187	54,672



○多面的機能支払交付金 3,530万2千円

農業者や地域住民が参加する活動組織による農業用施設の維持管理や地域の生態系保全、景観形成などの活動に対し交付金を交付した。

	活動 組織 数	面積 (ha)	交付金額 (千円)	負担割合 (%)		
				国	県	市
農地維持支払交付金	2	685	14,448	50%	25%	25%
資源向上支払交付金 (共同活動)	2	685	7,866	50%	25%	25%
資源向上支払交付金 (長寿命化)	2	611	12,387	50%	25%	25%
広域活動組織運営交付金	1	—	600	100%	0%	0%
計			35,301			

遊休農地発生防止のための保安全管理状況



水路の泥上げ状況



沈砂池の適正管理状況



景観形成のための施設への植栽状況



○路面下空洞化調査業務 408万9千円

島原市が管理する河川等に面している路面において、路面下の空洞の有無等の異常（空洞化による災害、第三者被害につながるおそれのある変状）を把握するための調査を実施した。

調査対象	一次調査 (路面下空洞調査)	二次調査 (スコープ調査)	支出額 (千円)
堤沢川	0.60 k m	2箇所	4,089
山ノ田川	0.55 k m	1箇所	
栗谷川第一	0.45 k m	1箇所	
敷坪川	0.21 k m	1箇所	
地川内川	0.15 k m	3箇所	
荒牧川	0.05 k m	0箇所	
計	2.01 k m	8箇所	

一次調査（路面下空洞調査）



地中レーダ探査状況

二次調査（スコープ調査）



観察状況

○農村地域防災減災事業（調査計画事業） 212万3千円

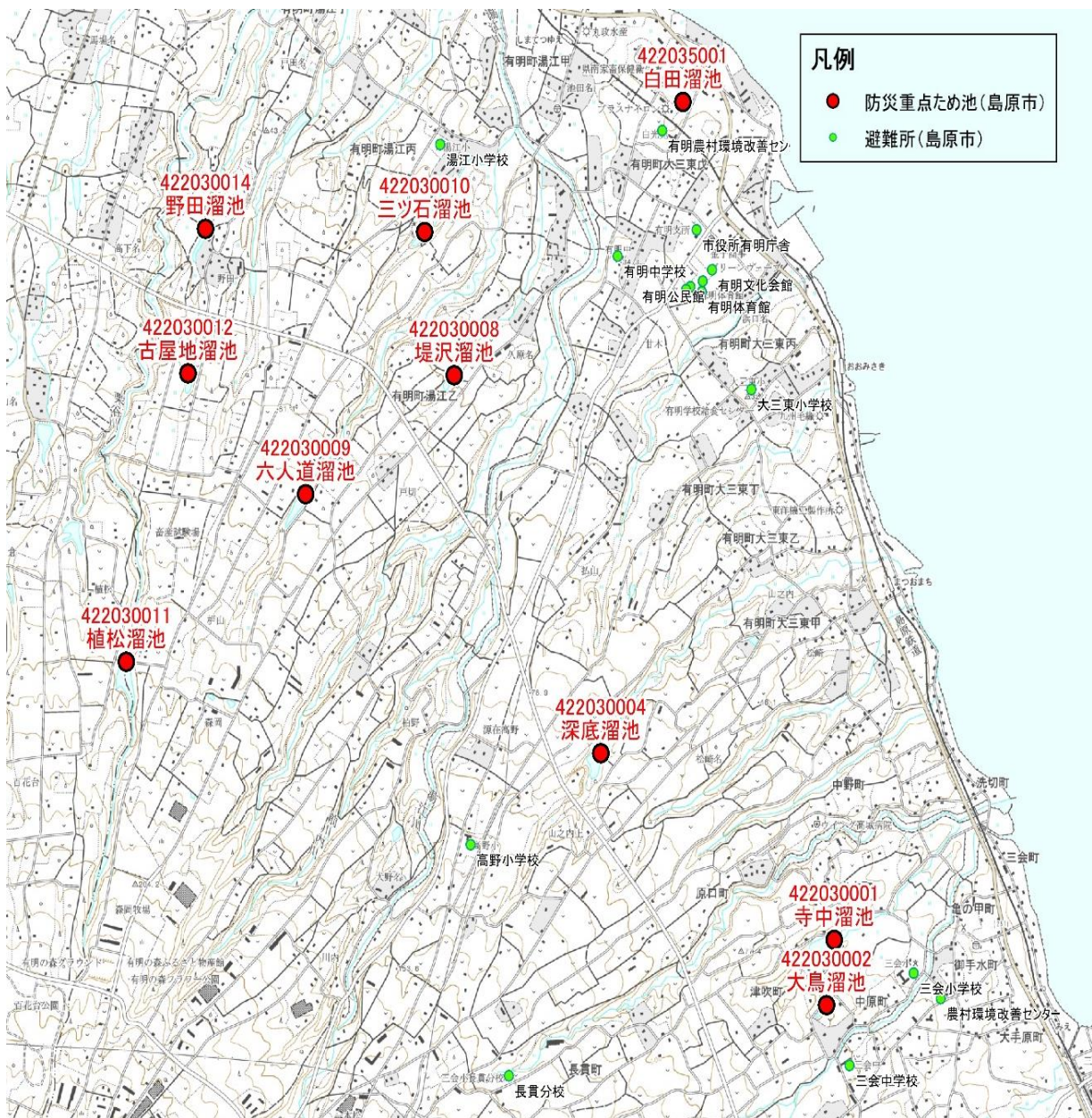
近年の地震・集中豪雨等の災害により、ため池の決壊が発生しているため、島原市内防災重点ため池において、ため池マップの作成と浸水想定区域図の作成を行い、農村地域の防災意識の向上を図った。

▼事業内容：島原地区ため池マップ・浸水想定区域図作成

- ①ため池マップ作成
- ②浸水想定区域図作成

▼総事業費：212万3千円（うち補助対象事業費：210万円 補助率：国費100%）

島原市内防災重点ため池マップ（一部抜粋）



款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	1	6	農村環境施設管理 運営費	3,371万0	3,027万1	248~255

【産業政策課】

下記の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行った。

○農村環境改善センター管理運営費 1,109万3千円

○有明農業者トレーニングセンター管理運営費 168万7千円

○有明農林漁業体験実習施設（舞岳山荘）管理運営費 1,749万1千円

▼利用者数

(単位：人)

施設名	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)
農村環境改善センター	15,370	14,736	16,649
有明農業者トレーニング センター	34,077	29,425	24,630
舞岳山荘	8,219	7,350	8,219
計	57,666	52,197	49,498



<農村環境改善センター>



<有明農業者トレーニングセンター>



<舞岳山荘>

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
6	2	2	林業振興費	1,126万1	1,042万9	256~259

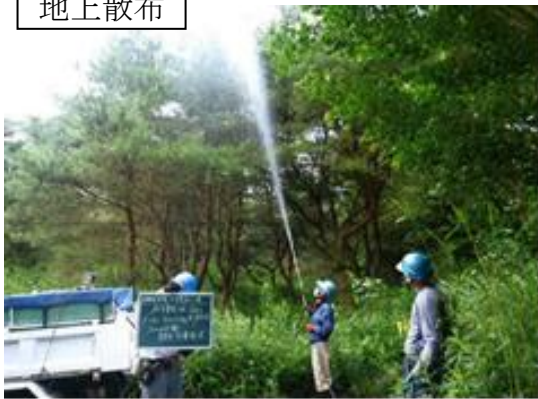
【農林水産課】

○松くい虫対策事業 469万3千円

松林を松くい虫から保護するため、地上からの薬剤散布による防除、被害木の伐倒、処理を行い、松林の健全な育成と保全に寄与した。

実施場所	有明町水之出口地区、湊島、秩父が浦
事業量	地上散布：2.29ha、伐倒駆除：170本

地上散布



衛生伐



○造林事業委託料 45万3千円

市有林の健全な育成を図るため、間伐や下刈り等を行い、人工林の健全な育成が図られ森林環境の保全に寄与した。

区分	面積
市有林管理 (下刈等)	0.54ha

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
6	3	2	水産業振興費	2,949万1	2,809万4	258~263

【農林水産課】

○活力ある海づくり事業費補助金 251万6千円

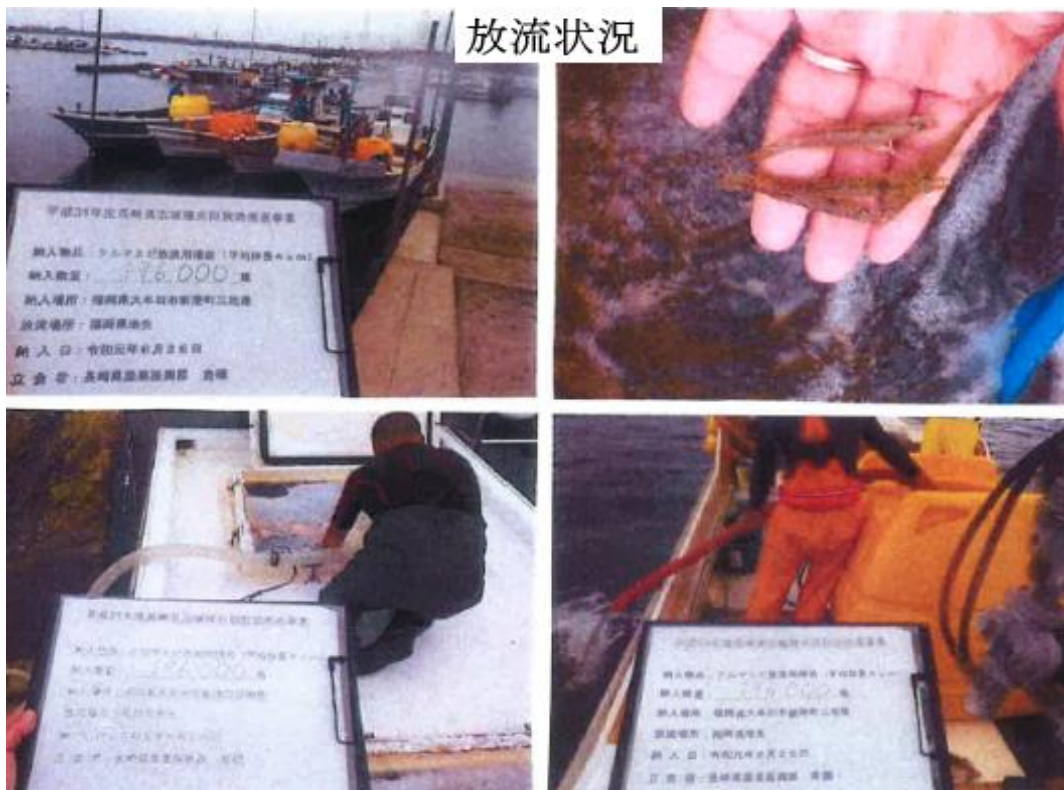
(有明漁協：80万2千円 島原漁協：171万4千円)

有明海の漁業資源の回復を図るため、種苗放流事業を行う有明海栽培漁業推進協議会に加入する有明漁協・島原漁協に対し補助を行った。(市補助率75% 漁協負担金の75%を補助)

- ・放流実績(諫早湾漁協から島原半島南部漁協までの8漁協合計分)

(単位：尾)

魚種	ヒラメ	クルマエビ	トラフグ
尾数	75,000	1,450,000	100,000



クルマエビの放流

○次代を担う漁業後継者育成事業 405万円

担い手の定着促進のため、就業定着意欲のある者に対する生活費・保険加入料等を助成し、担い手の確保育成を図った。(負担割合：県50%、市50%)

- ・技術習得支援事業【新規就業者の生活費等】

平成31年度(令和元年度)実績 研修者：3人 315万円

指導者：1人 90万円

○水産多面的機能発揮対策事業負担金 351万1千円

島原地区及び有明地区環境・生態系保全活動組織が、藻場・干潟の機能の維持・回復を図る取り組み相当分に対し、長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出した。

(負担割合：国 14/20、県 3/20、市 3/20 ※海難救助訓練は国費 100%)

(千円)

活動組織	内容及び事業費		国		県		市	
	内容	事業費	14/20	20/20	3/20	0/20	3/20	0/20
島原地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	2,880	2,016		432		432	
	2. 干潟の保全	6,720	4,704		1,008		1,008	
	3. 漂流・漂着物除去	4,320	3,024		648		648	
	4. 海難救助訓練	480		480		0		0
小計		14,400	9,744	480	2,088	0	2,088	0
有明地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,600	1,120		240		240	
	2. 干潟の保全	6,000	4,200		900		900	
	3. 漂流・漂着物除去	2,800	1,960		420		420	
	4. 海難救助訓練	400		400		0		0
小計		10,800	7,280	400	1,560	0	1,423 (雲仙市分 137)	0
合計		25,200	17,024	880	3,648	0	3,511 (雲仙市分 137)	0



ヒジキ移植



アマモ移植

○新水産業経営力強化事業 1,000万円

・近年の沿岸漁業による水揚げが厳しい中、ワカメ養殖漁業は比較的安定的な生産がなされている。このワカメは主に湯通し塩蔵ワカメに加工して出荷される。

・漁業者個人が所得向上を図るための経営計画書を平成30年度に作成され、効率的な湯通し塩蔵ワカメの生産を行うため、必要な機器を整備した。

総事業費：2,720万円（補助対象事業費2,000万円）

補助金及：市3/6（1,000万円）

び補助率 うち県2/6（666万6千円）、市1/6（333万4千円）

※ワカメ加工設備1式

- ・冷凍庫 1式
- ・冷蔵庫 1式
- ・ワカメ加工ボイル装置 1式
- ・ワカメ加工冷却装置 1式
- ・蒸気ボイラー装置 1式
- ・冷却装置 1式
- ・SUSドラムミキサー 1式
- ・SUS電動圧搾装置 1式



款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
6	3	3	漁港管理費	1億724万7	8,503万3	262～263

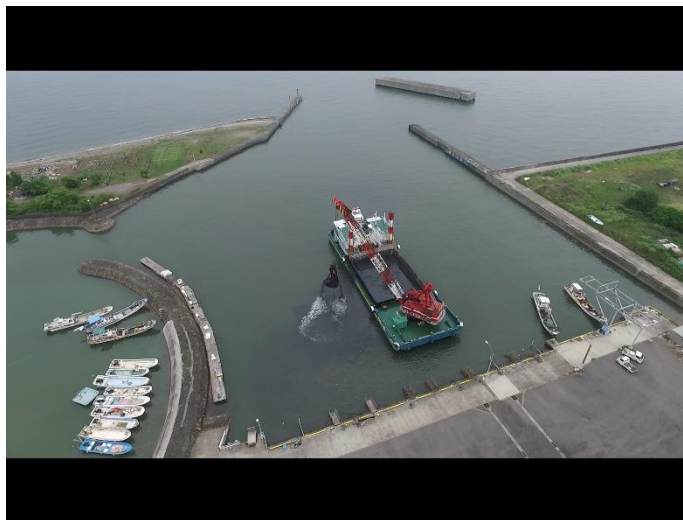
【農林水産課】

○水産物供給基盤機能保全事業 7,720万7千円

負担割合：国 50%、市 50%

水産物供給基盤機能保全事業計画に基づき、漁港機能の安全確保と延命化を図るため、大三東漁港の浚渫、防砂堤築堤及び湯江漁港水域施設の実施設計、底質調査を行った。

大三東漁港（浚渫）	33,000,600円	（前払金はH30年度支出）
大三東漁港（防砂堤）	36,805,360円	（前払金はH30年度支出）
湯江漁港（実施設計）	1,997,600円	
湯江漁港（底質調査）	885,500円	
猛島漁港（浚渫）	4,518,000円	（前払金のみ支出）



大三東漁港（浚渫）



大三東漁港（防砂堤）

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
7	1	2	商工業振興費	9,253万4	7,020万9	264~269

【産業政策課】

○各種イベント

地元向けの特産品の普及や需要拡大のため、以下のイベントに補助を行った。

イベント名	補助額 (万円)	開催日 (日数)	出店数 (店舗数)	来場者数 (人)
島原ふるさと産業まつり	200	R1. 11. 23~24 (2日間)	114	21,000
島原初市	18	R2. 3. 3~10	127	4,000



<島原ふるさと産業まつり>



<島原初市>

○島原市中小企業振興資金 3,000万円

市内中小企業に必要な融資を行い、経営の安定に寄与した。

新規融資件数 7件 融資額 2,570万円

○島原市中小企業振興利子補給補助金 353万3千円

市内中小企業に利子補給補助を行い、経営の改善と産業の発展に寄与した。

補助件数 72件

○商店街再生事業 36万円

中心市街地の商店街の賑わいを取り戻すため、出店を目指す者への支援を行った。

補助件数 1件

○商店街活性化事業補助金 30万円

中心市街地の商店街の空き店舗を解消し、出店を目指す者への支援を行った。

補助件数 1件

○企業立地促進・雇用創出事業 418万9千円

企業の立地と地場企業の拡大を促進するため、下記による各種の奨励措置を講じ、産業の振興と雇用の創出が図られた。

単位：千円、人

業種	投下固定資産額	新規雇用者数	立地奨励金	施設整備奨励金	土地家屋賃借奨励金	雇用奨励金	年度計
製造業	104,532	2	691				691
製造業	13,467	5	67				67
情報サービス業	75,586	1	671			500	1,171
宿泊業	67,049	5	2,260				2,260
合計額（4件）	260,634	13	3,689	0	0	500	4,189

■支援メニュー

立地奨励金	投下した固定資産額にかかる固定資産税相当額を3年間補助 (改修の場合は対象外)
施設整備奨励金	投下した固定資産額（土地代を除く）の取得額又は改修に要した経費に新規雇用者の数に応じて一定の率（5%～10%）を乗じた額を補助 ※限度額 1億円（改修の場合2千万円）
土地家屋賃借奨励金	土地・家屋賃借料の25%を3年間補助 ※限度額 1千万円／年
雇用奨励金	新規雇用した人数に対する補助 ・正規雇用者×50万円／人 ・短期雇用者×25万円／人 ※限度額 5千万円

○雇用拡大支援事業 225万円

新規学卒者を雇用した市内事業主に対して補助金を交付し、若者の雇用拡大と雇用定着を推進した。

補助件数 9件 新規学卒者 15人

○トライアル雇用応援事業 12万円

国のトライアル雇用奨励金制度を活用して、常用雇用を行った市内の事業主に対して補助金を交付し、市内労働者の常用雇用を促進し安定的な雇用の確保を図った。

補助件数 2件

○島原半島若者定着促進協議会負担金 32万5千円

県、ハローワーク、半島3市、商工団体が島原半島内への若者の定着を促進することを目的とした協議会を設立し、地元企業説明会や地元企業ガイドブックの作成等を行った。

- 地元企業説明会…参加企業54社
参加高校10校
参加生徒407人
- 地元企業ガイドブックの作成
…掲載企業86社



○地場産業事業拡充促進事業 800万円

市内における雇用機会の拡充を行い、定住、定着、移住の促進を図るため、雇用増に直接寄与する生産能力の拡大、商品・サービスの付加価値向上等の事業拡充を行う小規模事業者へ支援を行った。

補助件数：2件 補助総額：800万円

○しまばら創業サポートセンター事業 148万6千円

島原商工会議所内に創業支援ワンストップ相談窓口を設置するとともに、創業セミナーを実施し、市内における創業希望者への支援や創業に対する気運の醸成、知識・技術の習得を図った。

創業実績：2件



○創業支援等利子補給事業 63万6千円

創業関係融資を受けた創業者に利子補給補助を行い、創業時における負担軽減を図った。

補助件数 15件

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
7	1	3	観光費	2億4,379万0	2億3,555万0	268~279

【しまばら観光おもてなし課】

○観光宿泊施設支援事業 1,513万5千円

観光の振興と地域の活性化を図るため、温泉給湯事業を利用するホテル・旅館等が実施する宣伝PRや地元の食材提供などに要する経費を対象として支援を行った。

○島原城七万石物語事業 1,513万9千円

演舞披露、武者行列、甲冑維持管理、体験・PR活動などを行い、湧水城下町島原のイメージ定着化を目指した。

島原城入場者数は約200,000人であり、島原城内での活動として、武将隊を活用した観光客へのおもてなしについては、来場した観光客の方々からお礼状が届くなど、大変好評であり、島原での旅の満足度向上に寄与した。

島原城七万石武将隊



○湧水城下町おもてなし事業 908万3千円

本市特有の財産である湧水や城下町などの魅力を発信する観光案内人の配置をはじめ、郷土料理の調理体験や参加型イベントの展開による市内観光の楽しみを創出し、観光客の拡大と市内滞在時間の延長による地域活性化を図った。

事業名	参加・受付者数
かんざらし手作り体験	2,808人
観光ボランティアガイド受付	7,751人
観光案内所(湧水館)	14,790人



「かんざらし手作り体験」



「島原駅観光案内所」

○がまだすリーグ・スポーツキャンプ等誘致補助金 600万円

県内外からの交流人口の増加及びこれらによる観光振興及び地域の活性化を図るため、プロサッカーチーム（V・ファーレン長崎やギラヴァンツ北九州）や実業団のバレー・陸上チームのキャンプをはじめ、全国規模の大会を誘致した。

また、市民スポーツの向上や青少年の健全育成、地域活性化を目指して、実業団や学生などによる各種スポーツのキャンプ等を誘致した。

（キャンプ）

種 目	参加者数	延宿泊者数
サッカー（プロサッカー ほか）	741 人	2,378 人
野球（大学野球部 ほか）	201 人	605 人
剣道（大学剣道部）	88 人	409 人
陸 上（実業団）	16 人	191 人
テニス（大学テニス部）	32 人	96 人
バレー（実業団）	23 人	46 人
その他（大学）	64 人	128 人
合 計	1,165 人	3,853 人

（大 会）

種目	参加者数	延宿泊者数
野 球		
西日本中学硬式野球大会	1,300 人	1,042 人
サッカー		
九州大学サッカートーナメント	200 人	117 人
島原雲仙ユースサッカーフェスティバル U-16	800 人	514 人
サマーカップ U-18 サッカー大会	300 人	816 人
大学サッカーチャレンジ in 島原	312 人	994 人
全国専門学校サッカー選手権大会	500 人	1,627 人
バレー		
Vリーグ開幕戦 大分三好ヴァイセアドラーホームゲーム島原大会	3,500 人	123 人
グラウンドゴルフ		
全国グラウンド・ゴルフレディス・プレ長崎大会	690 人	53 人
合 計	7,602 人	5,286 人



▲ギラヴァンツ北九州キャンプ



▲西日本中学硬式野球大会



▲大学サッカーチャレンジ

○大会・会議等誘致奨励金 452 万円

観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じて奨励金の交付を行い、交流人口の拡大を図った。

区 分	件数	延宿泊者数	金 額
島原市大会・会議等誘致奨励金	48 件	23,069 人	4,520,000 円

○島原めぐり事業 568 万 4 千円

島原城や鯉の泳ぐまち等を中心とした島原ならではの風情やおもてなしを観光客に体験してもらうことで、周遊型観光の推進・滞在時間の延長を図った。

①周遊バス運行事業

- ・チケット売上数 2,962 冊

②Wi-fi 整備事業

- ・設置場所 全 4 商店街（森岳商店街、万町商店街、中堀町商店街、下通商店街）

③スマホを使った街中多言語案内板化+α構想事業

- ・多言語案内板(5 言語+音声)・・・45 基の製作
 (内訳) 天守閣内 25 基、商店街内 20 基
- ・+α構想・・・VR ゴーグル 8 台



「しまばらめぐりんバス」



「島原城多言語案内板」

○九州オルレ「島原コース」開設に伴う経費 273万9千円

九州オルレ「島原コース」の認定に伴いコース内の案内板の設置やコース整備を行い、情報発信や目的型観光者の誘客をはじめ、交流人口の増加を図った。

- ・九州オルレ「島原コース」認定日 令和2年1月15日
- ・九州オルレ「島原コース」オープン 令和2年2月23日
- ・利用者数 485人（令和2年2月23日～3月31日）



「案内看板とカンセ」



「島原コースを楽しむ」

○ロケツーリズム推進事業経費 108万2千円

本市にある地域資源を活用し、映画やテレビ番組などの撮影誘致・支援や全国ふるさと甲子園への参加により本市の魅力や認知度の向上の情報発信、また、ロケ誘致の専門家を招聘し、本市のロケ地となり得るスポットの視察やロケツーリズムセミナーを実施しロケツーリズムの推進を図るとともに、雑誌「ロケーションジャパン」への掲載を行いロケ地としてのPR、情報発信を行った。

- ・ロケツーリズム協議会セミナーへの参加：5回（うち首長トップ会談：3回）
- ・ロケツーリズム協議会フォーラムへの参加：1回
- ・第5回全国ふるさと甲子園への参加（出店地域：55地域、来場者数：3,062人）
- ・ロケツーリズムセミナー等の開催：1回（43人）
- ・雑誌「ロケーションジャパン」への掲載：1回



「第5回全国ふるさと甲子園」



「ロケツーリズムセミナー」



「ロケーションジャパンへの掲載」

○島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設指定管理料 850万円

島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設（鯉の泳ぐまち観光交流センター「清流亭」、しまばら湧水館、湧水庭園「四明荘」）を指定管理者が一元的に管理運営することにより、周遊型観光の促進及び滞在時間の延長を図った。

年度	指定管理料	利用者数			
		島原城	清流亭	湧水館	四明荘
H 3 1 (R 1)	8,500,000円	124,100人	39,492人	14,790人	28,201人
H 3 0	9,000,000円	119,734人	32,868人	16,783人	29,630人
H 2 9	17,000,000円	127,649人	50,976人	20,424人	53,434人

○銀水・浜の川湧水管理経費 1,180万5千円

本市特有の資源である「湧水」を活用した交流施設として、島原の名物である「かんざらし」等の提供を行うとともに、魅力的な観光スポットとして島原城や鯉の泳ぐまちと併せた周遊化を図り、滞在時間の延長と交流人口の拡大を図った。

・銀水来場者数：29,409人

内 訳	金 額
銀水管理経費	11,652,905円
浜の川湧水管理経費	152,498円
合 計	11,805,403円



○島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料 1,300万円

市民の健康増進や観光客の市内周遊化、中心市街地の活性化を図る目的で建設した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」の管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図った。

年度	指定管理料	利用者数
H 3 1 (R 1)	13,000,000円	75,150人
H 3 0	10,000,000円	71,307人
H 2 9	10,000,000円	68,766人

○島原城築城400年記念事業補助金 75万円

令和6年に迎える島原城築城400年に向け、島原城・城下町の歴史や文化を再認識し、次世代に伝承するための事業を実施した。

- ・島原城一斉清掃（参加者数：500人）
- ・ロケツアーリズムセミナー（参加者数：42人）
- ・島原城の七不思議（参加者数：171人）
- ・島原みらいキャンパス（4回、参加者数：延べ193人）



「島原城一斉清掃」



「島原みらいキャンパス」

款	項	目	目名	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算書の頁
7	1	4	ふるさと産業振興費	1,115万8	1,084万5	280~283

【しまばらブランド営業課】

○特産品PR催事事業 754万9千円

(ホームページ・パンフレット管理活用事業、特産品PR催事支援事業、島原市特産品認定制度(SQ)、姉妹都市等物産展)

本市特産品のブランド化の一環として、商品の魅力が向上し、消費者に愛される特産品となるよう、各種催事等を積極的に活用した情報発信・PRを行い、大手百貨店やスーパー等での流通促進を図った。

- ・物産展等開催・参加回数 12回
- ・延べ出展事業者数 117事業者



長崎浜屋「島原産直市」



福岡三越「島原フェア」

○特産品流通促進事業 155万9千円

(バイヤー交流セミナー、ビジネスマッチング商談会、島原産品プロモーション、海外販路開拓)

本市特産品が都市圏における大手百貨店やスーパー並びに飲食店等において、常備流通商品として定着化が図れるよう、バイヤーと地元生産者が直接面談し交渉できる商談会を開催した。また、販路の開拓に関しては、有名レストランと連携し、島原産品の素材とその生産者に直接折衝するマッチングを行うことで高級レストランへの販路開拓を図り、併せてJETRO講師による海外への輸出に関するセミナーの開催や台湾において商談をメインとした東南アジア最大級の食品見本市への出展を支援することで国内に留まらず海外への販路開拓も図った。

- ・バイヤー招へい商談会 3回 参加事業者 14事業者
- ・レストラン食材マッチング 7回 参加生産者 31事業者
- ・レストランと連携した島原フェア 2回
- ・輸出商談会 (in 台湾) 1回 参加事業者 1事業者
- ・海外輸出プロモーター招聘 1回 参加事業者 1事業者
- ・バイヤー交流セミナー (海外) 1回 参加事業者 5事業者



レストラン食材マッチング



バイヤー交流セミナー

款	項	目	目名	予算額(千円)	決算額(千円)	決算書の頁
7	1	5	有明の森フラワー公園管理費	1,410万5	1,410万5	284~285

【しまばらブランド営業課】

○有明の森フラワー公園指定管理事業 1,410万5千円

市民の休養、憩いの場を提供し健康増進を図るとともに、観光交流の場として本市の活性化に資するため設置している島原市有明の森フラワー公園について、指定管理者へ管理運営を委託し、効果的な運営を図った。

・H31(R1)利用者 約55,000人



有明の森フラワー公園

<花カレンダー(見ごろの時期)>

花の種類	開花時期
菜の花	3月~4月
桜	4月
パンジー	4月
サルビア	5月~11月
マリーゴールド	5月~11月
コスモス	10月